

# 施策分析シート（平成25年度）

No1

<b>施策名</b>	放置自転車対策の推進	<b>施策No</b>	08-04	<b>部課名</b>	防災都市づくり部交通対策課		
				<b>課長名</b>	平野	<b>内線</b> 2720	
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	環境先進都市[ ]					
	<b>政策</b>	良好で快適な生活環境の形成[08]					
<b>目的</b>	<p>放置自転車は、鉄道駅周辺では減少してきたとはいえ、依然として多い状況にある。放置自転車問題を解決することで、安全・安心して通行できる道路の確保し、安全で快適な生活環境の維持向上を図っていく。</p>						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	放置自転車台数(台)	1,663	1,433	1,110	1,000	700	放置台数 (午後の定点観測値)
	撤去自転車の返還率(%) (=返還数÷撤去数)	29.8%	37.1%	39.5%	40.0%	50.0%	23区平均返還率 = 58.9% (平成22年度)
	駐輪可能台数(台)	9,176	9,460	9,460	9,587	11,030	民間含む 28年度目標値は荒川区基本計画に基づく
	自転車置場・自転車駐車場定期登録者数(人)	7,391	7,384	7,328	7,400	7,800	28年度目標値は三河島駅前 で100増、日暮里駅前 で300増と見込んだ
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	<p>現在、駅周辺を中心として日々約1,000台もの自転車等が放置されており、これらは歩行者等の交通障害はもとより、災害時の避難・救助活動をも阻害するものである。その対応策として、放置自転車を撤去する方策を中心に、多大の税金が投入されている。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>自転車利用者に対して適正な自転車利用を求めていくと共に、強制撤去などの「規制策」と駐車場整備などの「誘導策」を併せて講じていく。</p> <p>放置自転車対策には、多大な費用がかかっていることから、撤去にかかる指導啓発等の手法などについて、費用対効果の観点も含めた見直しを検討する。</p> <p>自転車を交通手段の一つとして捉え、自転車利用のメカニズムを分析し、近隣自治体・交通事業者・交通管理者等とも連携を図りながら諸施策を実施していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	積極的に「自転車等利用者に対するルール・マナーの普及啓発」「放置規制の強化」を実施するとともに、必要な自転車等駐車場の確保に努める。

# 施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
放置自転車撤去	09-03-08	90,999	91,194	重点的 に推進	重点的 に推進	放置自転車による通行障害等を除去するため、強制撤去を行う
自転車置場・自転車駐車 場管理運営	09-03-09	39,493	32,699	推進	推進	放置自転車対策を重点的に行う地域について、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行う
合 計		130,492	123,893			